

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 21 年 8 月

A-09-17

新規受託項目のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます

この度下記検査項目につきまして、新たに受託開始致しますので、ご利用いただきたくご案内申し上げます。

敬具

記

◆ 受託開始日 平成 21 年 8 月 10 日（月）受付分より

◆ 新規実施項目

項目コード	4815
検査項目	アディポネクチン(LA)
検体量	血清 0.5 ml (保存方法：凍結)
検査方法	ラテックス免疫比濁法
基準値	4.0 以上 ($\mu\text{g}/\text{ml}$)
所要日数	3～10 日
実施料 / 判断料	——

→次面をご覧ください

アディポネクチン(LA)

脂肪細胞由来のアディポネクチンは、メタボリックシンドロームの早期診断に期待されています。

脂肪組織は、余剰のエネルギーを備蓄する機能を持つだけでなく、さまざまな生理活性物質 アディポサイトカインを分泌する機能を持つことが明らかになってきました。

このなかで、メタボリックシンドロームへの悪循環を遮断する、多彩な作用が解明されてきているアディポネクチンが、最近注目されています。

正常な脂肪組織では、インスリン感受性などの作用を持つアディポネクチンが豊富に分泌され、拮抗作用を持つ他のアディポサイトカインとのバランスを保っています。しかし、内臓脂肪が過剰に蓄積されると、アディポネクチン血中濃度は低下します。また、元来日本人のアディポネクチンの産生量は低いとされています。

このアディポネクチンの欠乏が、インスリン抵抗性の憎悪を引き起こし、動脈硬化の促進に関与していることから、病態が進行する前段階でのバイオマーカーとして期待されています。

疾患との関連	関連する主な検査項目
<ul style="list-style-type: none">●2型糖尿病●動脈硬化●冠動脈疾患	<ul style="list-style-type: none">●インスリン●レプチン●遊離脂肪酸(FFANFEFA)●高感度 TNF-α